

# 誰もが安心して暮らせる 川根本町



水と森が創る癒しの里  
川根本町地域包括支援センター

# 川根本町の概要

川根本町は静岡県の中央部に位置し、東は静岡市、南は島田市、西は浜松市に隣接し、町域は大井川に沿った東西約23km、南北約40kmの南北に細長い形で、このうちの約94%を森林が占めています。

◆人 口	7, 185人
◆世 帯	2, 901世帯
◆65歳以上	3, 412人
◆高齢化率	47. 5%
◆身体障がい者	343人
◆知的障がい者	61人
◆精神障がい者	36人 (手帳所持)
◆一人暮らし高齢者	584人



# 自然にワンストップ?

## 税務住民課

- ・転入、転出
- ・住民票等各種証明
- ・国保、後期医療
- ・納税相談
- ・滞納整理

## くらし環境課

- ・環境衛生
- ・動物
- ・町営住宅

## 健康福祉課

- ・生活保護
- ・障がい福祉
- ・児童福祉
- ・各種健診
- ・生活保護
- ・民生児童委員

## 高齢者福祉課

- ・高齢者福祉
- ・介護保険
- ・地域包括支援センター

## 建設課

- ・道路
- ・河川





2015/06/23

# お達者度??

静岡県は3日、65歳をスタート年齢として自立して健康に生活できる期間を示す2013年の市町別「お達者度」を発表した。男性は川根本町が18年9ヶ月で初めて1位、女性は吉田町が21年11ヶ月で4年ぶりに1位に輝いた。県全体は男性が17年8ヶ月、女性が20年11ヶ月で、いずれも前年より伸びた。

公表は5回目。要介護度2~5でない状態を「お達者」と定義し、市町の年代別介護認定割合や死亡数などのデータを基に県が独自に算出している。

県健康増進課によると、上位市町に共通する特徴は、肥満該当者が少ない▽週30分以上運動する▽多世代同居が多い▽働き世代との交流が週1回以上ある一など。脳血管疾患も少ないという。

65歳からの市町別平均自立期間(お達者度)	順位	市町	お達者度
			年月
男性	1	川根本町	18年9ヶ月
	2	森町	18年4ヶ月
	3	藤枝市	18年4ヶ月
	4	河津町	18年3ヶ月
	5	御殿場市	18年2ヶ月
女性	31	御前崎市	16年9ヶ月
	32	東伊豆町	16年8ヶ月
	33	熱海市	16年8ヶ月
	34	南伊豆町	16年7ヶ月
	35	小山町	16年5ヶ月
		県平均	17年8ヶ月
女性	1	吉田町	21年11ヶ月
	2	森町	21年11ヶ月
	3	川根本町	21年10ヶ月
	4	御殿場市	21年9ヶ月
	5	伊豆の国市	21年5ヶ月
	31	松崎町	20年1ヶ月
	32	熱海市	19年10ヶ月
	33	西伊豆町	19年10ヶ月
	34	小山町	19年8ヶ月
	35	河津町	19年7ヶ月
		県平均	20年11ヶ月

※県まとめ



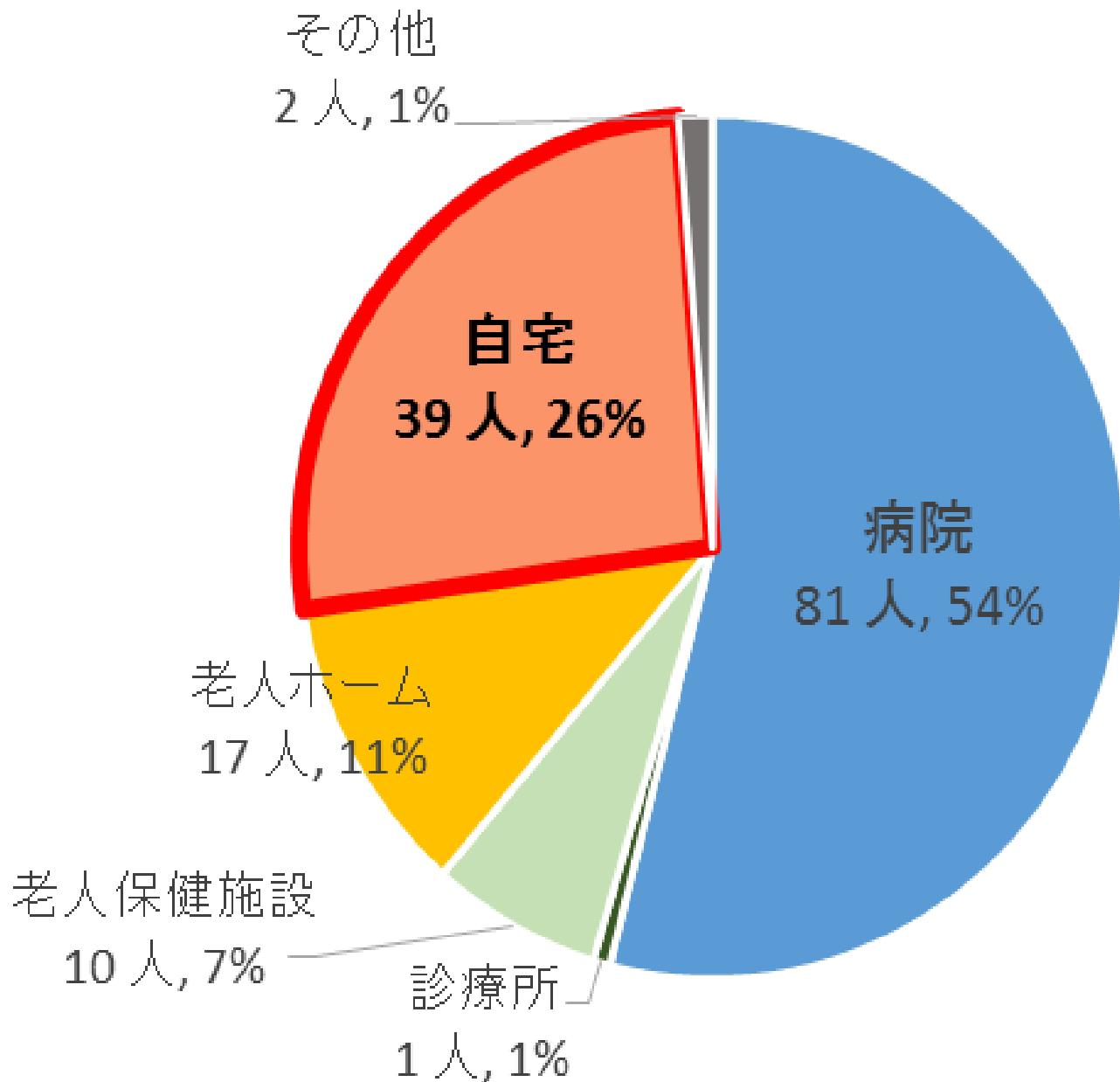






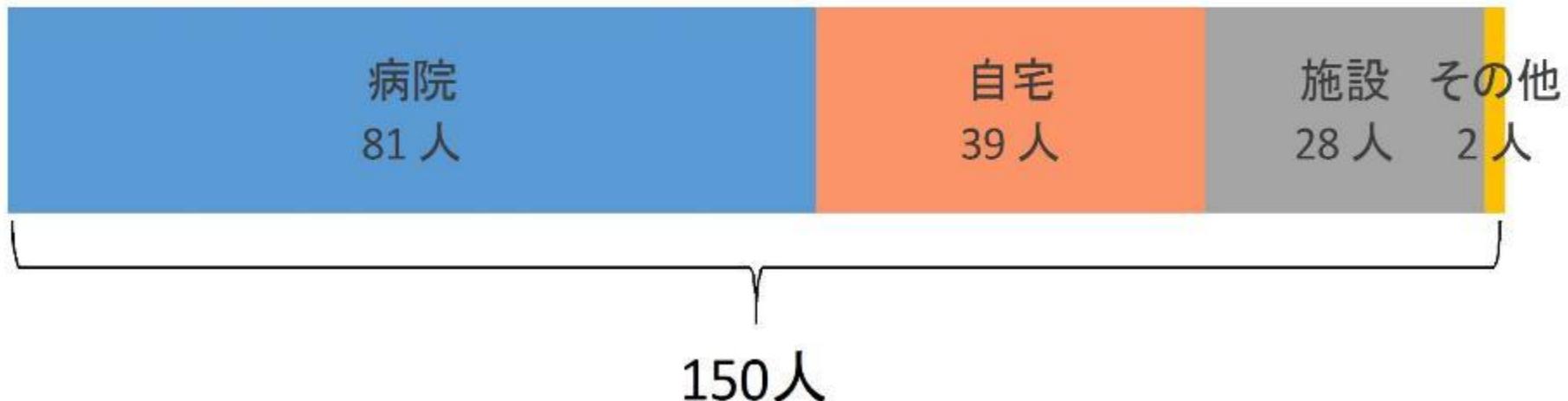
思えよう  
タバコと私  
セミナー

## 平成27年 川根本町民の亡くなった場所

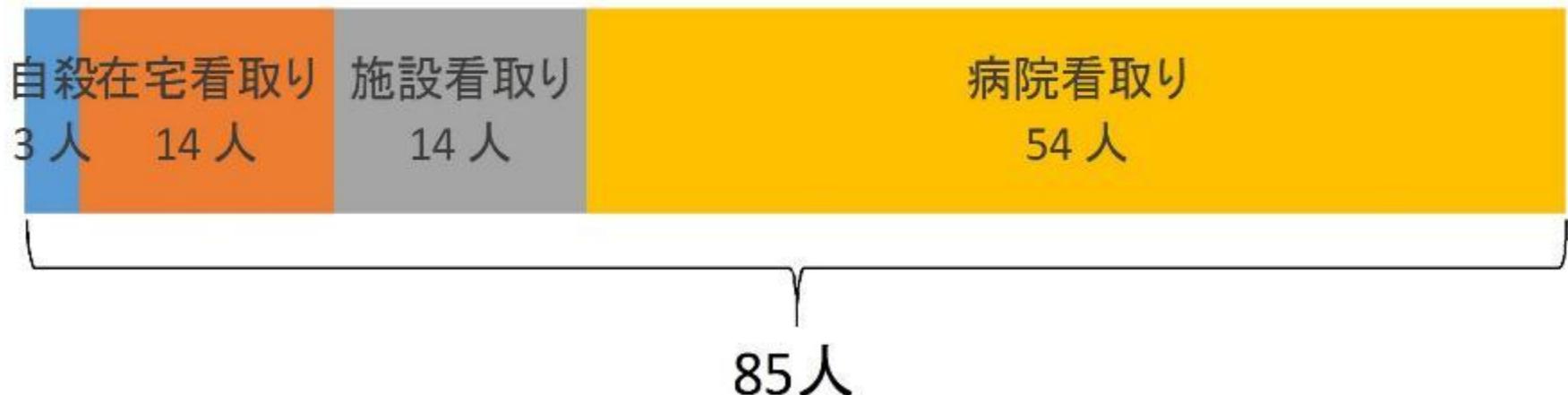




## 平成27年に亡くなった方



## 内包括が何らかの形で関わり、把握している方





## ●自宅での看取り

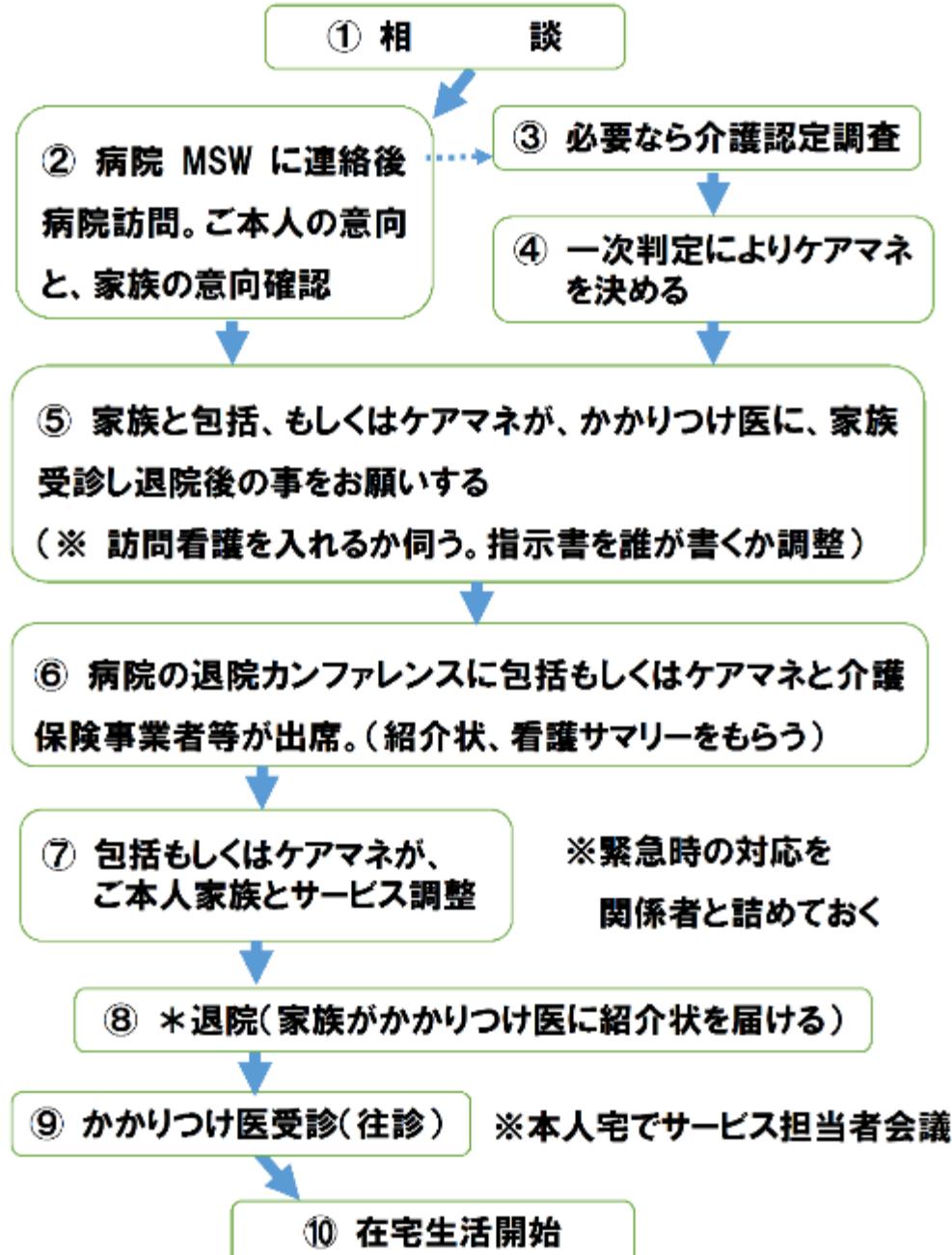
- ◆ 入院させようと迷っているうちに亡くなつた。
- ◆ 本人も苦しんだし、家族も疲れた。
- ◆ 自分の家なので、用事をしながら介護できた。
- ◆ 本人もいつもどおりの生活ができた。
- ◆ 親戚に「なぜ入院させなかつた」と責められた。

## ●病院での看取り

- ◆ 家族が介護しなくても看護師さんがやってくれるので、その分手を握ったり体をさすったりできて良かった。



## <包括が在宅看取りの相談をうけた場合の流れ>



# 家族に説明すること

- ◆ 家で看取るか、病院で看取るか、基本、家だけど、もしかしたら病院か？
- ◆ 家と病院、それぞれのメリット・デメリット
- ◆ 延命治療と緩和ケア治療の違い
- ◆ 急変時の対応(苦しんだら？吐血下血など)
- ◆ 痛み・食べられない・不穏あばれる・苦しがる時、どう介護するか？
- ◆ 救急車の利用について
- ◆ 先生に相談すること、訪看に相談すること、包括に相談すること。
- ◆ 「息が止まった時」どうするかについて、医師とどういう話になっているか？(場合により主治医に確認)

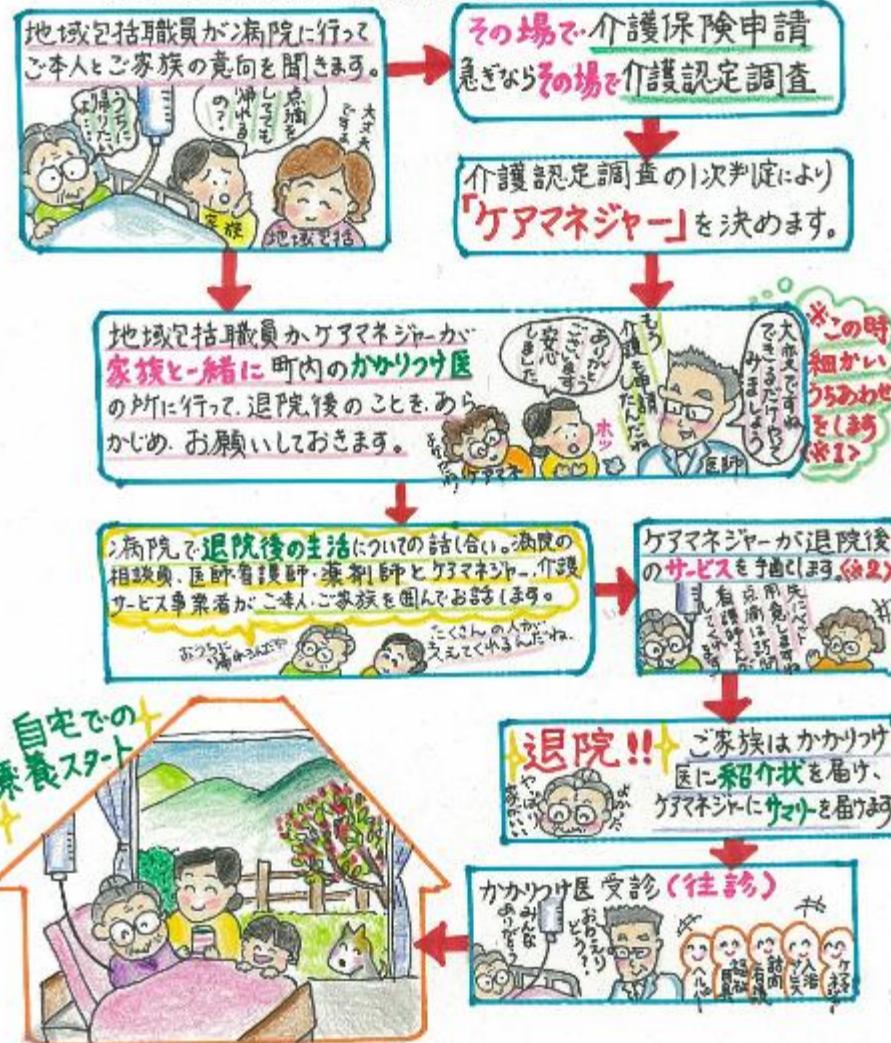


家族だけでは  
手続きだって大変です。  
お手伝いします!!

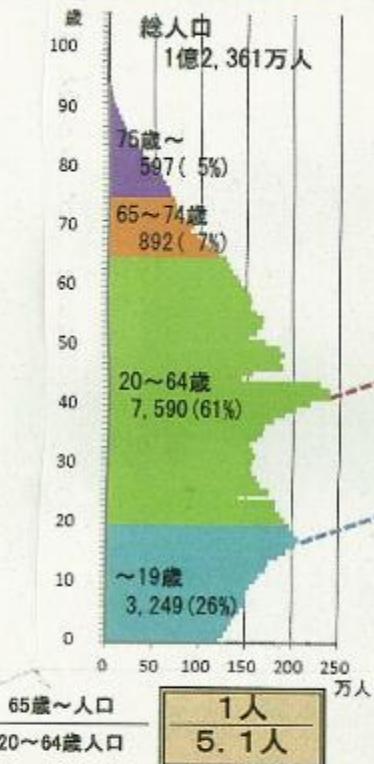
## 川根本町の医療と介護を上手の利用しよう！

地域包括支援センターが窓口です（56-2225）

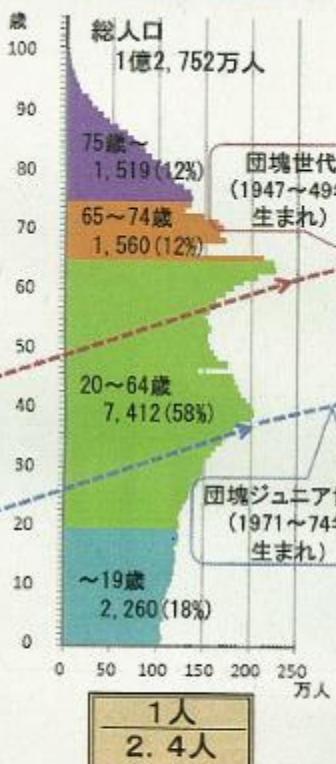
<家の看取りの相談を受けた場合の流れ>



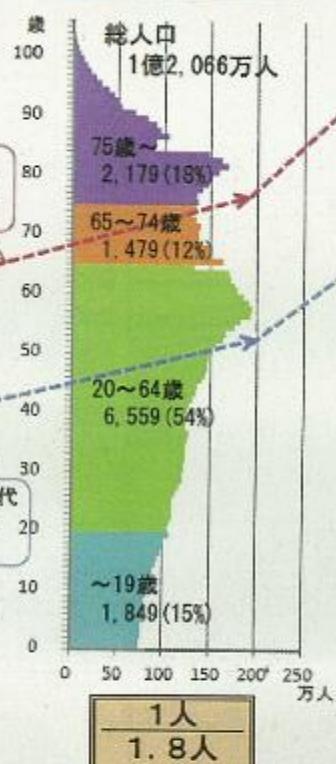
1990年(実績)



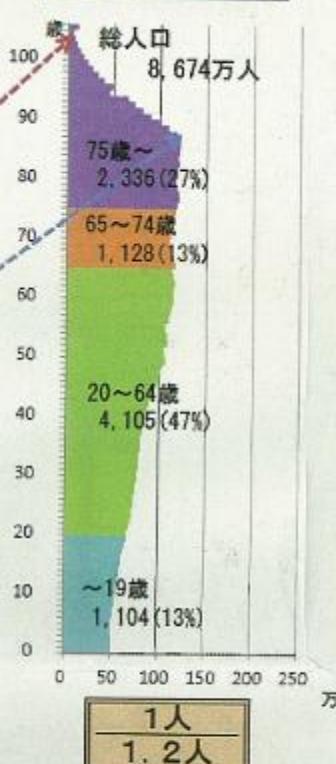
2012年



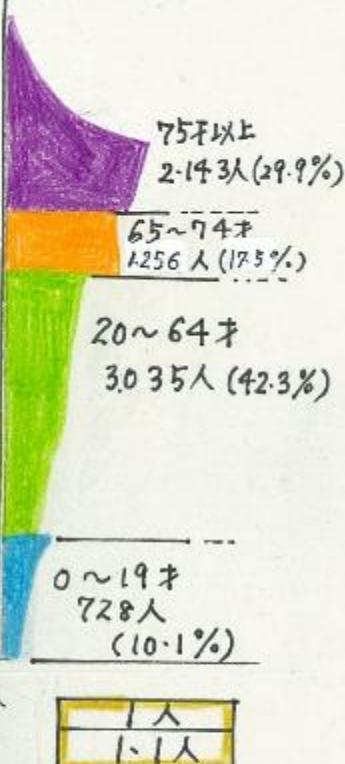
2025年



2060年



川根本町は…



20年前…



今は…



将来は…



## H29年度 元気はつらつ教室 アンケート集計 途中経過

2. あなたはどこで人生の終わりを迎えたいですか？

		アンケート数	自分の家	病院	施設	わからない
1	千頭東	20	16	2	1	1
2	千頭西	14	13	0	1	0
3	大間	7	2	1	1	3
4	桑野山	12	9	1	1	1
5	坂京	9	2	2	0	5
6	田代・柳三	25	22	0	0	3
7	八木・大谷	13	13	0	0	0
8	奥泉	15	11	2	2	0
9	上岸・前山	14	11	1	0	2
10	接岨	9	6	0	0	3
11	寺馬	14	11	0	0	3
12	徳山	24	15	1	2	6
13	崎平	29	26	1	0	2
14	青部	20	17	2	0	1
15	水川	16	6	5	2	3
16	地名	49	39	6	0	4
		平均割合	74%	9%	4%	13%



## <地域の強み>

- ◆ 昔から医療に恵まれていなかったため、自助共助がある程度できる
- ◆ 「昔と比べれば今は安心」の声。消防署がある、ドクターヘリがとぶ救急時間外がある、通院の送迎サービスがある。
- ◆ 介護サービス(訪問看護)がある。
- ◆ 相談をうけてからの対応が早い。
- ◆ 薬局、包括、ケアマネ、介護従事者がお互いを良く知っている。医師との連携もある程度できている
- ◆ 全自治会がAEDをもっている。普及員活動もさかん。

## <地域の弱み>

- ◆ 医師どうしが話をする場・機会がない
- ◆ 子育て中の若い世代は不安が大きい
- ◆ 入院できる病院まで1時間～2時間かかる。(救急も)
- ◆ 専門医がない(眼科、皮膚科、整形、精神、呼吸器…)
- ◆ 植原医師会の拠点が南部のためかかりが薄い。
- ◆ 急病の時の救急車以外の受診方法が少ない。(外出支援は2日前までの予約制。デマンドは健常者)



Trainer 3

# <課題>

- ◆ 看取りをしてくれる医師は4人。休診日や夜間の負担が大きい。診・診連携を検討中。
- ◆ 24時間体制のクリニック参入については「場を荒らされたくない」という医師もあり。
- ◆ 療養が辛くなってしまった時の短期入院・入所施設が町内にほしい。
- ◆ 包括の24時間365日の考え方
- ◆ 病院の「早く早く」に患者・家族の気持ちが追いついていない
- ◆ 医療以外の生活の質(医療連携に社会福祉士は必須)
- ◆ 住民の力も必要(救急法ボランティア)



医療介護一同に会した話し合いが必要



2017/03/09

平成 29 年 5 月 30 日

# 川根本町認知症講演会

## 認知症の診断と治療

生駒脳神経クリニック

認知症サポート医

小塙 聰司

- ① 医療介護サービス情報冊子作成……………ア
- ② 亡くなった方の家族への聞き取り調査……………ア・イ
- ③ 人口透析患者への訪問調査……………ア・イ
- ④ 町内医師との懇談会……………イ・ウ・エ
- ⑤ 多職種連携チームの話し合い……………イ・ウ・エ
- ⑥ 協議会の立ち上げ……………イ・ウ
- ⑦ 高齢者サービス担当者会議……………イ・ウ・エ
- ⑧ 地域ケア会議……………イ・ウ・エ
- ⑨ 医師・介護関係機関連絡票……………エ
- ⑩ 静岡県在宅医療・介護連携システム登録……………エ
- ⑪ 医療介護の相談窓口を地域包括支援センターへ……………オ
- ⑫ 多職種連携研修会……………カ
- ⑬ 看取りの手引書作成中……………ウ・エ
- ⑭ 全地区巡回で「人生の終わりをどこで迎えたいですか」……………イ・キ
- ⑮ 遠隔地住民と医師との懇談会……………イ・キ
- ⑯ 志太榛原地区地域包括ケア推進ネットワーク会議……………ク
- ⑰ 町外病院の医師を招いて研修、町内医師との懇談会……………ク